

令和8年度当初予算市長復活査定総括表

別紙1

(単位:千円)

事業名	令和7年度現計予算額		令和8年度当初総務部長内示額							令和8年度当初予算市長復活要求額							市長復活査定額							頁
	総額	一般財源	総額	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源	総額	国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源				
1 防犯カメラ設置事業	0		0					0	4,213					4,213	0					0	1			
2 特殊詐欺対策器機貸与事業	0		0					0	440		200			240	0					0	2			
3								0						0						0				
4								0						0						0				
5								0						0						0				
6								0						0						0				
7								0						0						0				
8								0						0						0				
9								0						0						0				
10								0						0						0				
計	0	0	0	0	0	0	0	0	4,653	0	200	0	0	4,453	0	0	0	0	0	0				

令和8年度当初予算 市長復活査定書

別紙2

(目名) 交通防犯対策費

(細目名) 6

(事業名) 防犯カメラ設置事業

(単位:千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳						
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		
令和6年度当初予算額							0						0	
令和6年度決算額														
令和7年度当初予算額														
令和7年度現計予算額														
令和8年度当初要求額	4,213					4,213	債務負担行為	千円(年度～ 年度)						
令和8年度当初総務部長内示額	0				0									
令和8総務部長復活内示額														
令和8年度復活要求額	4,213				4,213									

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 駅周辺や通学路など人の往来が多い場所に防犯カメラが設置されていることは、府内において、標準的な行政サービスとなりつつある中、本市においても犯罪抑止、犯人の早期検挙、被害の拡大防止に寄与するため、防犯カメラを増設し、安心安全なまち、「憧れのまちはなんん」を目指す。</p> <p>(概要) 令和2年度からリース契約した防犯カメラ8台の契約が終了する為、令和8年度に新たに防犯カメラを10台増設する。また、防犯委員会から移管予定の防犯カメラ5台に係る維持費を計上する。</p> <p>(根拠法令)</p> <p>[復活理由] 阪南市の市独自の防犯カメラ設置率は近隣市町や大阪府下の各自治体と比較して低く、主要道路においても防犯カメラが設置されていない状況である(本市36台、泉南市120台。人口1万人当り本市7台、泉南市21台)。この状況では、犯罪者が阪南市に入れば足跡をつかめない等の事も考えられる。また泉南警察や防犯委員会などからもカメラの増設位置の要望を受けているところであり、特に防犯委員会においては、市長に対し直接要望がなされたところである。さらに、議会や自治会からの市単独のカメラ設置への要望が非常に強い。</p>	<p>委託料 防犯カメラ設置委託料 375,000円×1.1×10台=41,250,000円</p> <p>需用費 防犯カメラ電気料金(市設置予定分10台・防犯委員会設置後移管分5台) 360円×15台×12か月=64,800円</p> <p>使用料及び賃借料(市設置予定分10台・防犯委員会設置後移管分5台) 1,400円×15本×1.1=23,100円</p> <p style="text-align: right;">合計 4,213,000円</p>

令和8年度当初予算 市長復活査定書

別紙2

(目名) 交通防犯対策費

(細目名) 防犯対策調整連絡費

(事業名) 特殊詐欺対策器機貸与事業

(単位:千円)

	総 額	財 源 内 訳					査 定 総 額	財 源 内 訳						
		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		国支出金	府支出金	起債	その他	一般財源		
令和6年度当初予算額							0						0	
令和6年度決算額														
令和7年度当初予算額														
令和7年度現計予算額														
令和8年度当初要求額	440		200			240	債務負担行為	千円(年度～ 年度)						
令和8年度当初総務部長内示額	0					0								
令和8総務部長復活内示額														
令和8年度復活要求額	440		200			240								

事 業 内 容	予 算 要 求 内 容
<p>(目的) 市内在住の高齢者世帯に対し、特殊詐欺被害の未然防止を目的として、自動通話録音機装置を無償で貸与することにより、高齢者が安心して暮らせる「安全・安心なまち阪南」の実現に向け、高齢者福祉施策の側面も踏まえ実施する。</p> <p>(概要) 市内在住の高齢者世帯を対象に、固定電話に接続する自動通話録音機を無償貸与する。令和8年度に50台を導入し、大阪府補助(購入額1/2・上限4,000円/台)を活用。自動通話録音機装置を固定電話に接続し、着信時に「この電話の通話内容は防犯のため会話内容を自動録音いたします。あらかじめご了承ください。」といった警告メッセージを流すことにより、詐欺被害を未然に防止する効果が期待される。</p> <p>(根拠法令) [復活理由] 阪南市の65歳以上高齢者のいる世帯数(令和2年10月1日時点)は10,881世帯であり、府目標であった1%は109世帯となる。阪南市は、これまで大阪府補助事業を活用した自動通話録音機装置の整備が未実施であり、大阪府内で設置率0%の10自治体の一つとなっている。府内の多くの自治体ではすでに「標準的な対策」となっている一方、阪南市は高齢者の詐欺被害対策において明確に立ち遅れている状況である。 また、令和7年には、詐欺被害が急増するなか、大阪府はこれまでの目標1%を撤廃し、少しでも多くの高齢者世帯に詐欺被害対策を実施することが目標としている。このことから、阪南市においても高齢者を詐欺被害から守るための、早急な対策が必要である。</p>	<p>(歳出) 振り込め詐欺見張隊ECOECO(自動通話録音機) 8,000円×50式×1.1=440,000円</p> <p>(歳入) 府補助金 特殊詐欺対策器機普及促進事業補助金 4,000円×50式=200,000円</p> <p style="text-align: right;"><u>一般財源=240,000円</u></p>